

平成22年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		秋田県		市町村類型		IV-1		指定団体等の指定状況		区分		平成22年度(千円)		平成21年度(千円)		区分		平成22年度(千円・%)		平成21年度(千円・%)					
市町村名		羽後町		地方交付税種地		2-1		財政健全化等	×	歳入総額	8,766,530	8,086,347	実質収支比率	4.7	6.3	財政健全化等	×	歳出総額	8,328,134	7,717,251	経常収支比率	83.7	86.9		
人口		22年国調(人)	16,792	産業構造				財源超過	×	歳入歳出差引	438,396	369,096	(※1)	(90.3)	(92.7)	財源超過	×	首都	183,364	37,113	標準財政規模	5,442,097	5,233,993		
増減率(%)		17年国調(人)	18,267	区分	17年国調	12年国調	近畿	×	望年度に繰越すべき財源	255,032	331,983	財政力指数	0.25	0.26	近畿	×	中部	-76,951	30,892	実質収支	255,032	331,983	公債費負担比率	14.1	14.3
住民基本台帳人口		23.03.31(人)	17,321	第1次	1,758	1,836	中部	×	単年度収支	-76,951	30,892	健全化判断比率	-	-	中部	×	山振	60,000	120,100	単年度収支	-76,951	30,892	実質赤字比率	-	-
増減率(%)		22.03.31(人)	17,603	第2次	19.8	19.0	山振	○	繰上償還金	13,200	22,980	実質赤字比率	-	-	山振	○	低開発	60,000	60,000	繰上償還金	13,200	22,980	連結実質赤字比率	-	-
面積(km ²)			230.75	第3次	3,238	4,010	低開発	×	積立金	60,000	120,100	実質公債費比率	13.0	12.8	低開発	×	山振	60,000	120,100	積立金	60,000	120,100	将来負担比率	81.7	83.4
人口密度(人/km ²)			73		36.4	41.6	山振	○	繰上償還金	13,200	22,980	資金不足比率(※3)	-	-	山振	○	低開発	60,000	60,000	繰上償還金	13,200	22,980			
世帯数(世帯)			4,966		3,893	3,794	低開発	×	積立金	60,000	120,100					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
					43.8	39.3	低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金	13,200	22,980				
							低開発	×	繰上償還金	13,200	22,980					山振	60,000	120,100	繰上償還金						

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,095,692	12.5	1,095,692	21.5	普通税	1,086,889	99.2	-	
地方譲与税	122,662	1.4	122,662	2.4	法定普通税	1,086,889	99.2	-	
利子割交付金	3,221	0.0	3,221	0.1	市町村民税	408,251	37.3	-	
配当割交付金	1,003	0.0	1,003	0.0	個人均等割	20,348	1.9	-	
株式等譲渡所得割交付金	245	0.0	245	0.0	所得割	321,462	29.3	-	
地方消費税交付金	140,096	1.6	140,096	2.7	法人均等割	22,976	2.1	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	43,465	4.0	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	567,226	51.8	-	
自動車取得税交付金	22,969	0.3	22,969	0.5	うち純固定資産税	564,450	51.5	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	41,851	3.8	-	
地方特例交付金	27,420	0.3	27,420	0.5	市町村たばこ税	69,561	6.3	-	
児童手当及び子ども手当特例交付金	17,607	0.2	17,607	0.3	釧産税	-	-	-	
減収補填特例交付金	9,813	0.1	9,813	0.2	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	3,900,251	44.5	3,679,198	72.1	法定外普通税	-	-	-	
普通交付税	3,679,198	42.0	3,679,198	72.1	目的税	8,803	0.8	-	
特別交付税	221,053	2.5	-	-	法定目的税	8,803	0.8	-	
(一般財源計)	5,313,559	60.6	5,092,506	99.9	入湯税	8,803	0.8	-	
交通安全対策特別交付金	2,063	0.0	2,063	0.0	事業所税	-	-	-	
分担金・負担金	4,885	0.1	-	-	都市計画税	-	-	-	
使用料	83,083	0.9	4,422	0.1	水利地益税等	-	-	-	
手数料	26,930	0.3	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国庫支出金	1,191,267	13.6	-	-	旧法による税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計	1,095,692	100.0	-	
都道府県支出金	676,062	7.7	-	-					
財産収入	18,518	0.2	658	0.0					
寄附金	2,115	0.0	-	-					
繰入金	118,804	1.4	-	-					
繰越金	369,096	4.2	-	-					
諸収入	66,848	0.8	362	0.0					
地方債	893,300	10.2	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	401,600	4.6	-	-					
歳入合計	8,766,530	100.0	5,100,011	100.0					

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	116,994	1.4	-	116,994	
総務費	1,165,209	14.0	251,638	885,211	
民生費	2,048,395	24.6	13,055	1,146,312	
衛生費	717,581	8.6	72,187	675,192	
労働費	108,692	1.3	18,946	1,169	
農林水産業費	573,125	6.9	182,837	412,054	
商工費	146,251	1.8	23,264	145,515	
土木費	738,382	8.9	340,605	636,584	
消防費	376,189	4.5	9,896	370,894	
教育費	1,414,803	17.0	816,110	746,523	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	922,513	11.1	-	911,612	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	8,328,134	100.0	1,728,538	6,048,060	
性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	3,204,449	38.5	2,445,056	2,392,891	43.5
人件費	1,416,471	17.0	1,276,551	1,237,772	22.5
うち職員給	886,047	10.6	790,880	-	-
扶助費	865,465	10.4	256,893	256,893	4.7
公債費	922,513	11.1	911,612	898,226	16.3
内 元利償還金	922,513	11.1	911,612	898,226	16.3
訳 一時借入金利息	-	-	-	-	-
その他の経費	3,395,147	40.8	2,938,524	2,213,020	40.2
物件費	1,174,318	14.1	918,412	776,814	14.1
維持補修費	7,865	0.1	7,865	7,865	0.1
補助費等	1,238,309	14.9	1,152,717	777,427	14.1
うち一部事務組合負担金	604,868	7.3	601,871	523,276	9.5
繰入金	911,751	10.9	799,530	650,914	11.8
積立金	60,000	0.7	60,000	-	-
投資・出資金・貸付金	2,904	0.0	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,728,538	20.8	664,480	-	-
うち人件費	50,348	0.6	50,348	-	-
普通建設事業費	1,728,538	20.8	664,480	-	-
うち補助	977,007	11.7	25,109	-	-
うち単独	733,414	8.8	621,254	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	8,328,134	100.0	6,048,060	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成22年度 秋田県羽後町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)
Table with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考. Rows include 一般会計 and 計.

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)
Table with columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 資金不足比率, 備考. Rows include 国民健康保険事業特別会計, 介護保険特別会計, etc.

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)
Table with columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 備考. Rows include 滝沢雄勝広域市町村圏組合, etc.

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支障の状況(単位:百万円)
Table with columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 経資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの債務保証に係る負債見込額, 当該団体からの損失補償に係る負債見込額, 一般会計等負担見込額, 備考. Rows include 五輪産ハイフ, 羽後有機センター, etc.

公債費負担の状況(千円・%) and 将来負担の状況(千円・%)
Two large tables showing debt service and future liability details with columns for year, ratio, and category.

健全化判断比率
Table with columns: 健全化判断比率, 平成22年度(再掲), 早期健全化基準, 財政再生基準. Rows include 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, etc.

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は繰上不足額を考慮して算定した額を含んでいる。
※実質公債費比率の(ア)-(ウ)は特定財源の額を控除している。

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	17,321	人(H23.3.31現在)	実質赤字比率	-	%
面積	230.75	km ²	進捗実質赤字比率	-	%
人口密度	8,766.530	千人	実質公債費比率	13.0	%
総収入	8,328,134	千円	将来負担比率	81.7	%
総支出	255,032	千円			
標準財政規模	5,442,097	千円	市町村類型	H18 IV-1 H19 IV-1 H20 IV-1 H21 IV-1 H22 IV-1	
地方債現在高	8,053,441	千円	(年度毎)		

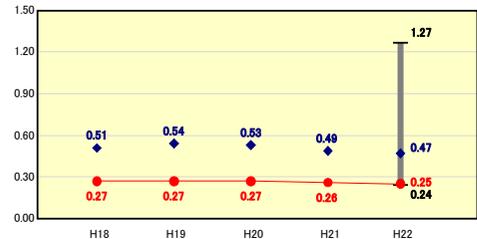


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充実可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体平均値は、充実可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費費弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.25]

類似団体内順位 32/33 全国平均 0.53 秋田県平均 0.31

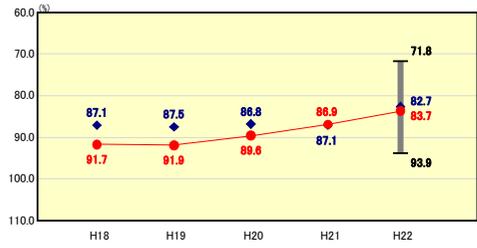


財政力指数の分析欄
 人口の減少や高齢化の進展に加え、基幹となる地場産業がないため、町税など自主財源に乏しく、財政力指数が類似団体平均を下回っている。町内企業の育成や、企業誘致の推進、農業生産の活性化などの方で、行政の効率化を図り、財政の健全化に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [83.7%]

類似団体内順位 19/33 全国平均 89.2 秋田県平均 87.5

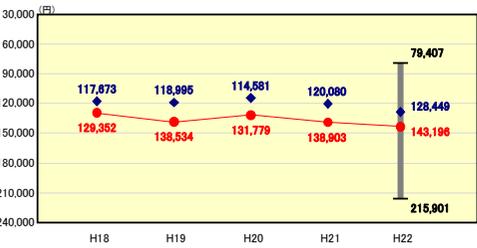


経常収支比率の分析欄
 経常経費充当一般財源等はほぼ前年並みであるが、地方交付税と臨時財政対策債の増により前年度より3.2ポイント減少している。しかし、歳入の約45%を地方交付税が占めているため、その動向に影響を受けやすい状況にある。第3期行政改革大綱に基づき行政改革を強力に推進していく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [143,196円]

類似団体内順位 24/33 全国平均 114,985 秋田県平均 141,676

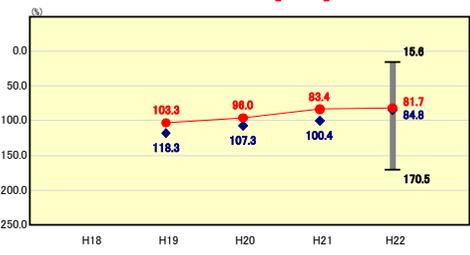


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 前年度と比較して4,293円増加しており類似団体平均よりも高い水準となっている。人件費は2,546円の減となっているものの、平成21年度より引き続き行っている緊急雇用対策等による賃金の増や豪雪による除排雪経費の増等により物件費が6,723円の増となっている。
 人件費は新規採用の抑制により減少傾向であるが、定員管理の適正化を図っていく必要がある。

将来負担の状況

将来負担比率 [81.7%]

類似団体内順位 18/33 全国平均 79.7 秋田県平均 115.2

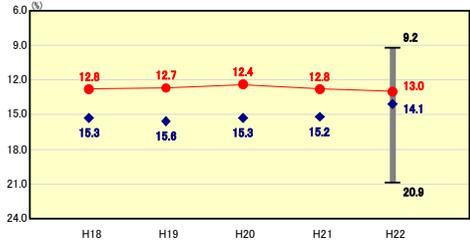


将来負担比率の分析欄
 職員の新規採用抑制により職員数が減少したため、退職手当負担見込額が減少しており、加えて地方交付税の増により比率が1.7ポイント減少している。今後も現在の水準を維持していく。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [13.0%]

類似団体内順位 16/33 全国平均 10.5 秋田県平均 15.5

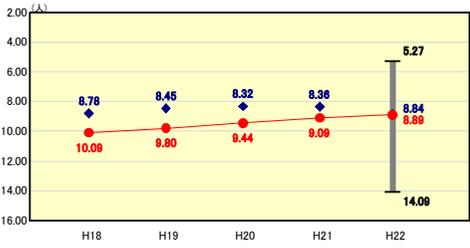


実質公債費比率の分析欄
 実質公債費比率は0.2ポイント上昇しているが類似団体平均及び秋田県平均を下回っている状況である。今後も現在の水準を維持できるよう地方債の発行を元金償還額以下に制限し、将来負担の軽減に向け努力していく。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [8.89人]

類似団体内順位 20/33 全国平均 7.24 秋田県平均 9.48

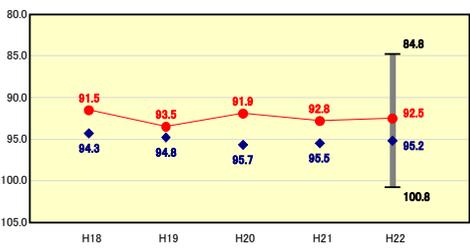


人口千人当たり職員数の分析欄
 職員の新規採用抑制により前年度と比較して0.2人減少している。今後も退職者と新規採用のバランスを考慮し、定員管理の適正化を図っていく。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレズ指数 [92.5]

類似団体内順位 8/33 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレズ指数の分析欄
 職員構成の変動により前年と比較して0.3ポイント減少しており、全国町村平均・類似団体平均と比較してもかなり低い状況にある。定員管理の適正化と合わせて給与水準の適正化を図る。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

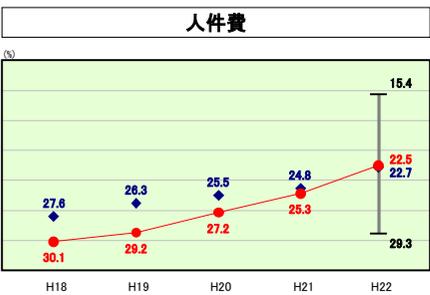
秋田県羽後町

経常収支比率の分析

人口	17,321人	(H23.3.31現在)	実収支	赤字	比率	-%
面積	230.75	km ²	結算	赤字	比率	-%
入出総額	8,766,530	千円	将来	負債	比率	13.0%
歳入総額	8,328,134	千円	市町村	類型	H18	IV-1
歳出総額	255,032	千円	(年度毎)	H21	IV-1	H22
実収支	5,442,097	千円			H20	IV-1
標準財政規模	8,053,441	千円				

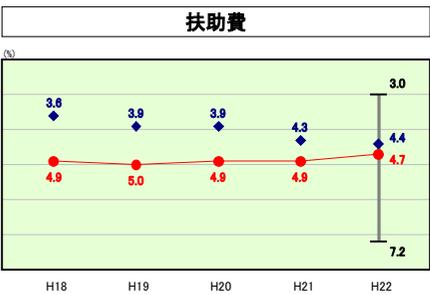
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



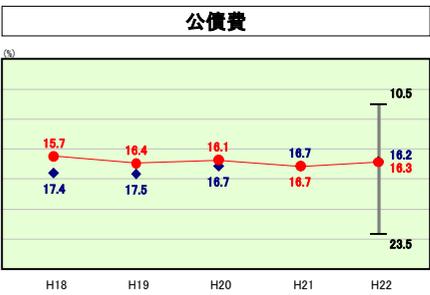
人件費の分析欄

職員の新規採用の抑制から人件費は前年度より2.8ポイント減少しており、類似団体平均に近い値となっている。今後も定員管理の適正化を図っていく。



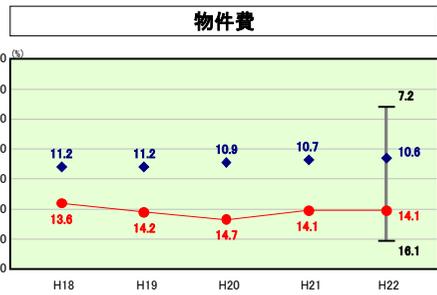
扶助費の分析欄

扶助費における経常収支比率は前年度より0.2ポイント減少しているが、これは地方交付税等の増により経常一般財源が増加することによる相対的な減少であり、扶助費は子ども手当及び児童手当の増により増加している。



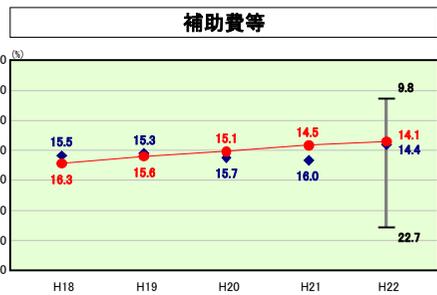
公債費の分析欄

地方交付税等の増により経常一般財源が増加していることから、公債費の経常収支比率は前年度より0.4ポイント減少している。全国及び秋田県平均を下回っており、今後も現在の水準を維持できるように地方債の発行を元金償還額以下に制限し、将来負担の軽減に向け努力していく。



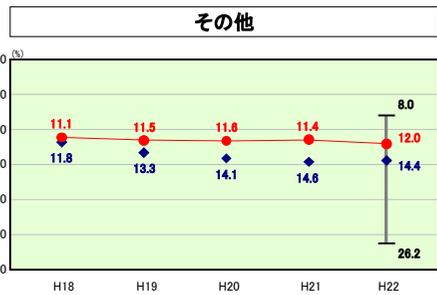
物件費の分析欄

類似団体平均、全国及び秋田県平均よりも高い数値となっている。これは、豪雪地帯であるため除排雪経費等により数値が上昇している。また、職員数の減により、賃金や業務委託等が増加し数値が高止まりする傾向があるが、行財政改革の推進により経常経費の縮減を図る。



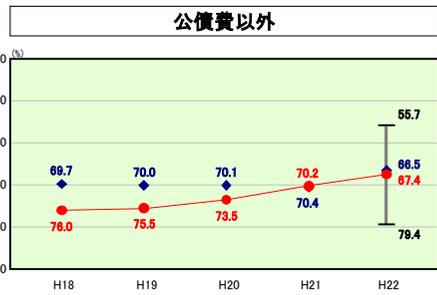
補助費等の分析欄

補助費等は前年度と比較して0.4ポイントの減となっており、類似団体平均よりも低くなっている。一部事務組合への負担金、町立病院への補助金が多く割合を占めている。今後も病院の経営の安定等を図り、数値の抑制を図る。



その他の分析欄

類似団体平均と比較すると低い数値になっている。国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業等への繰出金が多く割合を占めている。今後は公共下水道事業、農業集落排水事業の元利償還金に対する繰出金が増加することが見込まれるため、公共下水道及び農業集落排水の加入促進を図り繰出金を抑制していく。



公債費以外の分析欄

前年度よりも2.8ポイント減少しており、全国及び秋田県平均よりも低い状況にある。人件費が減少する一方で繰出金が増加しており、今後は公共下水道事業、農業集落排水事業の元利償還金に対する繰出金が増加することが見込まれるため、公共下水道及び農業集落排水の加入促進を図り繰出金を抑制していく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

秋田県羽後町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,416,471	81,778	77,441	5.6
賃金(物件費)	166,996	9,641	6,435	49.8
一部事務組合負担金(補助費等)	313,186	18,081	14,268	26.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	345	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	121,291	7,003	4,095	71.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	50,348	2,907	1,380	110.7
▲退職金	▲168,708	▲9,740	▲8,571	13.6
合計	1,899,584	109,669	95,391	15.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.89	8.84	0.05
ラスパイレス指数	92.5	95.2	▲2.7

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

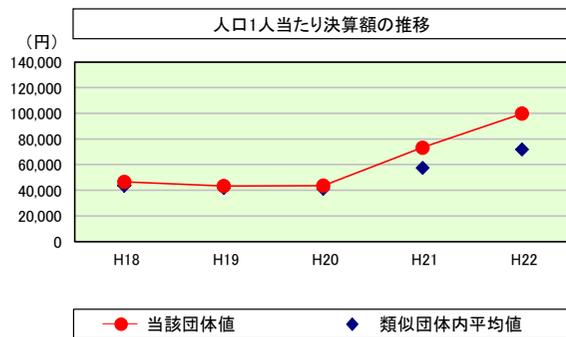


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	909,313	52,498	51,462	2.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	284,687	16,436	20,706	▲20.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	78,110	4,510	6,415	▲29.7
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	58,519	3,379	3,270	3.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲10,901	▲629	▲1,996	▲68.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲689,349	▲39,798	▲46,598	▲14.6
合計	630,379	36,394	33,264	9.4

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

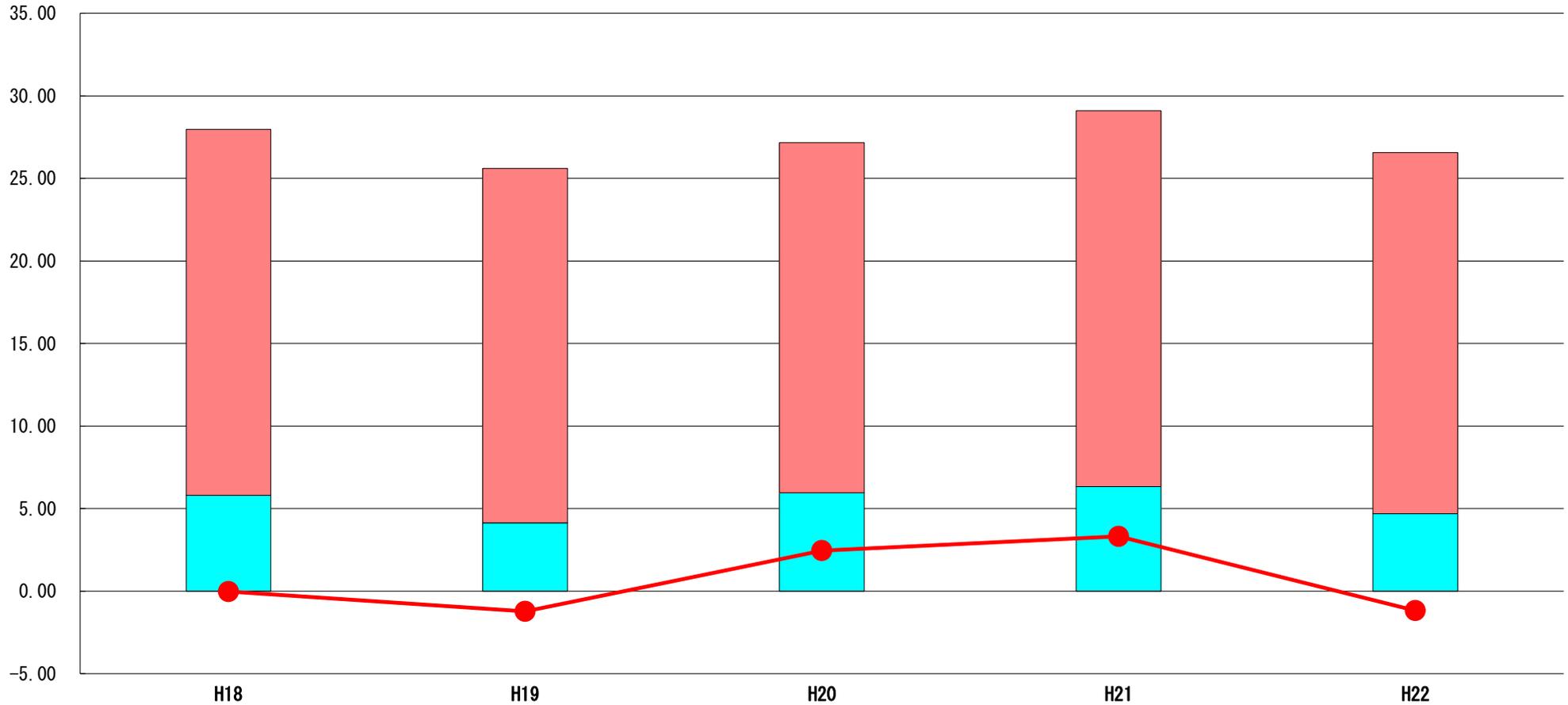
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H18	857,998	46,529	▲30.4	43,735	▲12.7	▲17.7
うち単独分	583,604	31,649	▲17.6	26,982	▲16.5	▲1.1
H19	786,872	43,313	▲6.9	41,791	▲4.4	▲2.5
うち単独分	443,644	24,420	▲22.8	25,330	▲6.1	▲16.7
H20	781,146	43,644	0.8	41,097	▲1.7	2.5
うち単独分	404,873	22,621	▲7.4	23,651	▲6.6	▲0.8
H21	1,290,096	73,288	67.9	57,455	39.8	28.1
うち単独分	704,985	40,049	77.0	33,958	43.6	33.4
H22	1,728,538	99,794	36.2	71,812	25.0	11.2
うち単独分	733,414	42,342	5.7	35,025	3.1	2.6
過去5年間平均	1,088,930	61,314	13.5	51,178	9.2	4.3
うち単独分	574,104	32,216	7.0	28,989	3.5	3.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成22年度

秋田県羽後町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		22.16	21.47	21.20	22.75	21.88
 実質収支額		5.81	4.14	5.96	6.34	4.69
 実質単年度収支		▲ 0.02	▲ 1.22	2.46	3.32	▲ 1.17

分析欄

○財政調整基金残高
標準財政規模の増減により、比率が上下しているが残高は増加し続けている。今後も安定的な運用を図る。

○実質収支額
普通建設事業費の増により平成22年度は減少しているが、標準財政規模の5%前後で推移しており、良好な状態である。

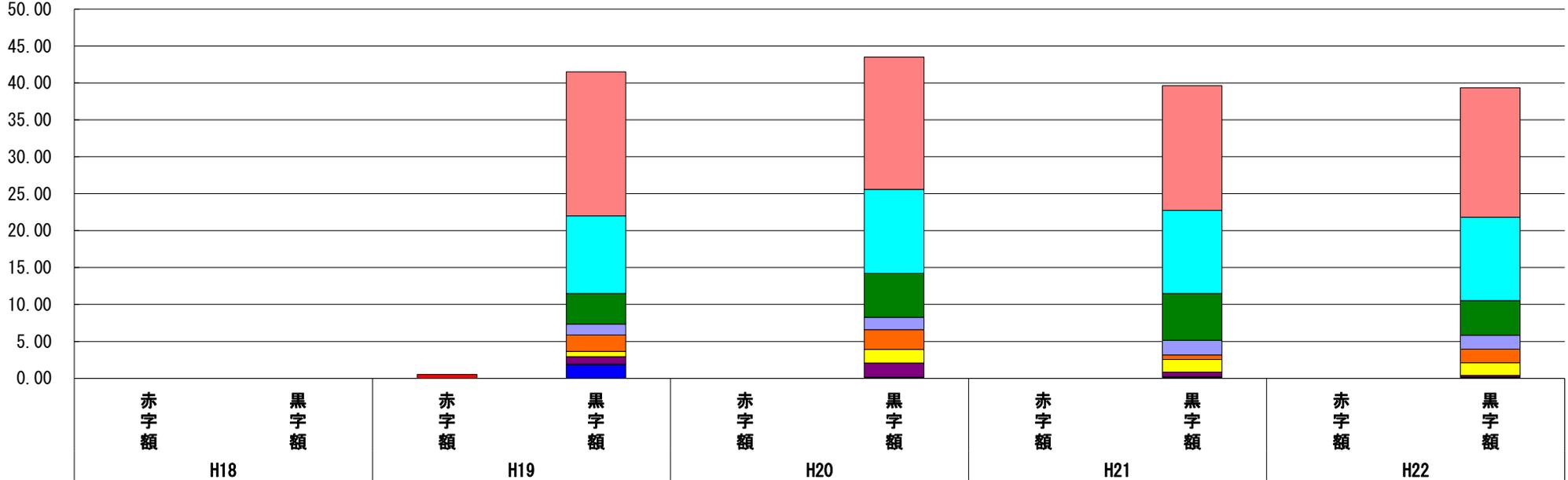
○実質単年度収支
実質収支が減少した影響で平成22年度はマイナスとなっているが、基金を取り崩さず、地方債の繰上償還もおこなっているため、今後も安定的な財政運営を図る。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

秋田県羽後町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
病院事業会計		-	19.50	17.89	16.90	17.53
上水道事業会計		-	10.52	11.36	11.25	11.30
一般会計		-	4.14	5.96	6.34	4.69
老人福祉施設運営特別会計		-	1.48	1.70	1.97	1.87
国民健康保険事業特別会計		-	2.21	2.64	0.61	1.86
高瀬ケアセンター運営特別会計		-	0.71	1.86	1.72	1.69
介護保険特別会計		-	1.00	1.91	0.63	0.24
公共下水道事業特別会計		-	0.11	0.06	0.10	0.10
その他会計（赤字）		-	▲ 0.52	-	-	-
その他会計（黒字）		-	1.83	0.11	0.12	0.07

分析欄

- 現状
平成22年度において一般会計およびすべての特別会計で赤字が生じていない。
- 今後の対応
各会計で適正な財政運営、企業経営を行っていく。

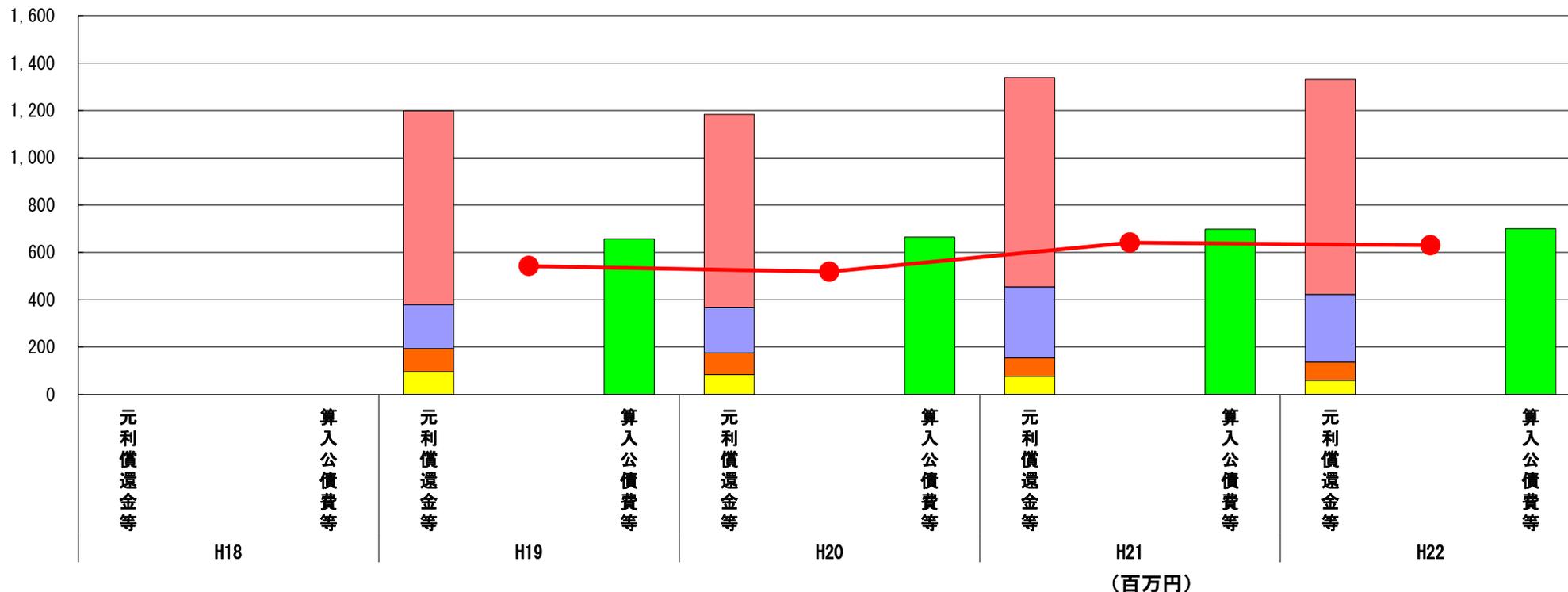
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

秋田県羽後町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	820	817	884	909	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	185	190	301	285	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	98	92	78	78	
	債務負担行為に基づく支出額	-	96	84	76	59	
	一時借入金利子	-	-	-	-	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	657	665	698	701	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	542	518	641	630	

分析欄

- 元利償還金
普通建設事業費の増により増加傾向にある。
- 公営企業債の元利償還金に対する繰入金
現在は減少傾向にあるが、公共下水道事業及び農業集落排水事業における元利償還金に対する繰入金が増加すると見込まれる。
- 今後の対応
早期健全化基準未満であるが、今後とも地方債の発行を元金償還額以下に制限し、負担の軽減に向け努力していく。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

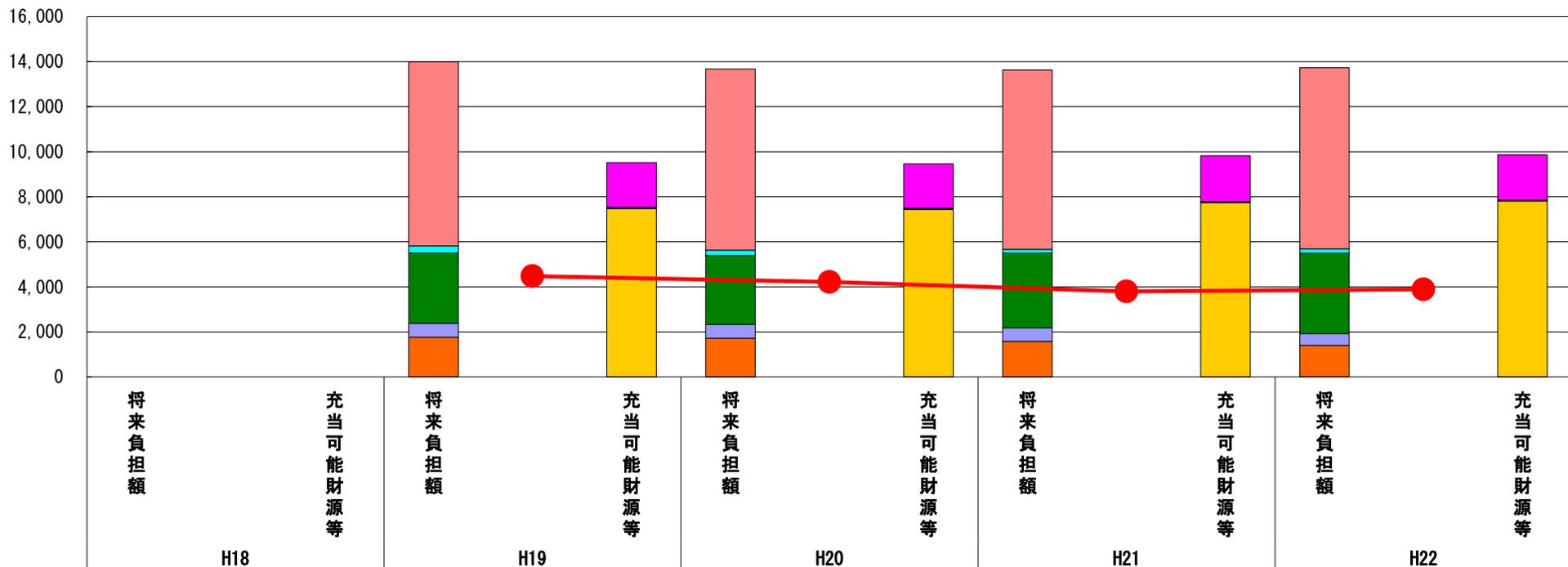
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

秋田県羽後町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	8,168	8,041	7,958	8,053	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	320	231	160	190	
	公営企業債等繰入見込額	-	3,112	3,075	3,327	3,575	
	組合等負担等見込額	-	624	604	594	518	
	退職手当負担見込額	-	1,763	1,717	1,583	1,397	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	4	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	1,973	1,957	2,038	2,010	
	充当可能特定歳入	-	66	56	45	35	
	基準財政需要額算入見込額	-	7,473	7,441	7,743	7,808	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	4,475	4,214	3,796	3,884	

分析欄

- 一般会計等に係る地方債の現在高
減少傾向にあったが、平成22年度において普通建設事業費の増により、現在高が増加した。
- 公営企業債等繰入見込額
病院事業会計等における地方債の償還金に対する繰入見込額が増加している。
- 退職手当負担見込額
職員の新規採用抑制により職員数が減少しているため減少している。
- 今後の対応
早期健全化基準未達であるが、地方債の発行を元金償還額以下に制限し、将来負担の軽減に向け努力していく。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。